

特定非営利活動法人 外断熱推進会議 主催 「第二十四回外断熱技術セミナー」のご案内
国土交通省 平成21年 住宅・建築関連先端技術開発助成事業 採択
**「蒸暑期にも有効なパッシブハウスに関する技術開発」の紹介セミナー
及び「さいたまパッシブハウス15 完成現場見学会」**

この度、表記の産学連携プロジェクト研究を実施する実験棟が完成しました。このプロジェクトは、PCM部材や可変透湿気密メンブレンを木質系超高断熱外皮に組み込み、顕熱交換換気システムと組み合わせ、数値・実験両面から建物の熱・湿気性能を調整し、冷暖房・除湿負荷が最小で準標準化する組み合わせを探り出すことを目的としています。

実験棟竣工の機会を捉えて、本プロジェクト研究の位置付けと概要を披露するとともに、実験棟を見学頂く機会を設定しました。広く外断熱建築関係者の皆様からのご意見・ご感想をお伺いできればと考えています。

師走のご多忙の折ですが、万障お繰り合わせのうえ、奮ってご参加賜りますよう、ご案内申し上げます。

- 開催日時：平成21年12月4日(金) 開場:13時00分 開会:13時30分 閉会:16時30分予定
- 会場：〒330-0841 さいたま市大宮区東町2丁目204 TEL048-643-1234(大代表)
ラフォーレ清水園(<http://www.shimizuen.co.jp/ac.html>) (JR大宮駅東口下車 徒歩7分)1階・高砂の間
- 主催：特定非営利活動法人 外断熱推進会議(<http://www.sotodan-npo.org/>)
- 協賛：ハイシマ工業株式会社(<http://www.haishima.co.jp/>)
日本パッシブハウスセンター(<http://passivehouse.jp/>)

■セミナー内容

(第一部)「蒸暑期にも有効なパッシブハウスに関する技術開発」紹介セミナー

- 13:30 はじめに 特定非営利活動法人 外断熱推進会議事務局 堀内正純
- 13:40 挨拶 さいたまパッシブハウス15事業主 ハイシマ工業(株) 代表取締役 薮島一弘氏
- 13:50 「蒸暑期にも有効な超高断熱・高気密住宅(パッシブハウス)に関する技術開発」について
京都工芸繊維大学大学院 准教授 芝池英樹氏
- 14:20 パッシブハウスにおける蓄熱空調の有効性について
神戸大学 准教授 竹林英樹氏
- 14:40 セミナー終了



(第二部)「さいたまパッシブハウス15」完成現場見学会

- 14:45 さいたまパッシブハウス15へ移動(バスによりご案内いたします(約20分))
- 15:10 現地見学(現場見学場所 〒337-0014埼玉県さいたま市見沼区大谷502)
これより2班(A班・B班)に分かれる予定です。
- A班 15:10 建物内にて建物概要建設状況の説明 15:10 建物外部見学 15:20 建物内部見学
- B班 15:40 建物内にて建物概要建設状況の説明 15:40 建物外部見学 15:50 建物内部見学
- 16:00 大宮駅までバスにて移動 16:10 大宮駅までバスにて移動 16:30頃 大宮駅にて解散となります。

■参加費

- 会員・学生 1,000円(資料代・会場費) 当日、ご持参下さい。
- 一般(非会員) 2,000円(資料代・会場費) 当日、ご持参下さい。

■定員 50名(先着順受付)

・FAX

『第二十四回 外断熱技術セミナー』に参加を申込みます。

セミナー参加費 会員 1,000円 学生 1,000円 一般(非会員) 2,000円

会社名	役職名:		TEL	
団体名			FAX	
氏名		歳		
住所	E-mail			

* 複数で参加の場合は、別紙に参加者氏名等をご記入の上、メールにてお申込み下さい。

受付締切 12月1日(火) 参加申込みされた皆様には、定員を超えた場合のみこちらから連絡をいたします。

特定非営利活動法人 外断熱推進会議 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 407 TEL03-3436-4755

参加申込書先 FAX 03-3436-0678 (外断熱推進会議宛)

◆国土交通省 平成21年 住宅・建築関連先端技術開発助成事業 採択
 「蒸暑期にも有効な超高断熱・高気密住宅(パッシブハウス)に関する技術開発」及び
 「さいたまパッシブハウス15 完成見学会」のご紹介



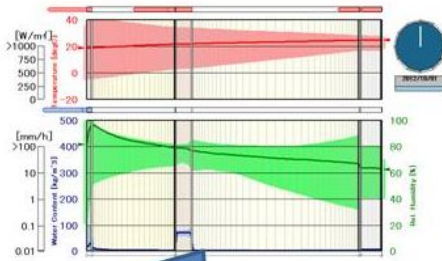
パッシブハウス 15

次世代への価値ある資産として、より長く、快適で省エネルギーなお住まいを実現するために

耐久性能



外皮の部材を適切に組み合わせないと腐朽の原因になります。

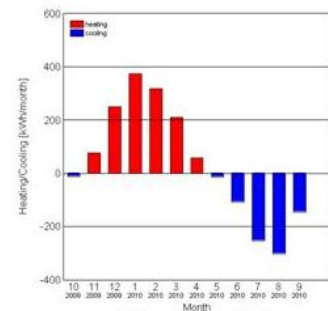


外皮内にて腐朽しやすい状態になっていないかシミュレーションを行います

建物が建つ地域の気候を考慮して、外皮性能を設計します。

超省エネ・快適性能

蒸暑期のある日本の気候に合わせた家づくりが必要



暖冷房エネルギー使用量

建物の建つ地域、家族構成など加味して、シミュレーションを行い、快適温度条件、バランスの良い省エネルギー断熱性能を確保します。

1998年 次世代省エネルギー基準
 (現在の住宅性能評価 等級4)

128kwh/m²・年
 一般工務店
 ハウスメーカー

パッシブハウス15
 (ハイシマ工業 先端技術開発住宅)

15+15kwh/m²・年
 ハイシマ工業
 の家づくり

76%
 削減

